

オンライン参加の皆さんによる質問への回答
(福知山市新文化ホール基本計画再検討に係る地域別説明会)

日付：令和7年3月9日

場所：市民交流プラザ

質問件数：7件

質問①

質問	「サウンディング型市場調査」とは、民間事業者に建設費用を出して貰うということでしょうか？
回答	「サウンディング型市場調査」とは、市有財産等の有効活用に向けた検討にあたって、その活用方法等について民間事業者から広く意見や提案を求め、「対話」を通じて市場性を検討しつつ、実現化に向けて公民連携で取り組む調査です。 今回の「サウンディング型市場調査」では、開発や建設、運営などのノウハウを有する民間事業者と意見交換を行い、民間事業者目線での意見を伺いたいと考えています。 その調査の中では、新文化ホールの整備や運営等について、民間事業者の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、新文化ホールの設計や建設、維持管理、運営等を行う公共事業の手法（PFI）の導入可能性に係るご意見を期待しています。

質問②

質問	資料の8ページ「これまでの再検討で確認できたこと」に“新文化ホールでやりたいこと”及び“新文化ホールの基本理念”について記載がありますが、令和5年6月議会において市長より発言された「北近畿エリアを視野に、人と人をつなぎ…」という発言については撤回するということでしょうか。
回答	新文化ホール基本計画の再検討にあたっては、基本構想に定めた理念は大切にしつつ、機能や規模、場所、スケジュール等基本計画のすべてについて新たに再検討委員会を設置し、改めて市民の意見等をお聴きしながら、進めることとしています。 その基本理念の中には、以下の文言がございます。 福知山市、さらに北近畿エリアを視野に広域で人と人をつなぎ、教育やまちづくり等多様な分野をつなぎ、過去と現在・未来をつなぐ、といった様々な「つなぎ」を生み出すことによって、お互いを刺激し、福知山市の新しい文化、ひいては福知山市の未来を創造する拠点となる施設整備をめざします。 こうした基本理念は大切にしつつ、再検討を進めたいと考えています。

質問③

質問	今回の市民説明会において「文化施設を建設することは、過去に決定している」といった旨の回答がありました。そのことについて記載されている資料の名前を教えてください。
回答	平成 31 年 3 月に策定しました「福知山市文化振興基本方針」の 20 ページ、基本施策 5 取組⑩内「事業の方向」に以下の記載がございます。 老朽化している他の施設との効果的な機能集約も図るなかで、文化活動の核となる文化ホールについて、新たな建設も含め検討します。 そして、このことを受けて、新たな福知山市の魅力を築く文化振興の拠点として、また市民の文化活動の核となり、市民が「幸せを生きる」まちづくりに寄与するための基本理念や整備の方針等を定めた「福知山市新文化ホール基本構想」及び「福知山市新文化ホール基本計画」を策定に着手しましたが、現在、この基本計画の再検討を行っています。 令和6年11月12日に開催しました再検討委員会においても、新文化ホールの整備について賛否の声があるものの、再検討委員会としては「新文化ホールを整備する」ことを前提に再検討を進めていくことについて委員間で確認していただいております。

質問④

質問	住民投票について、市民懇談会やアンケート、再検討委員会などを通じて市民の意見は十分に反映されたとお考えでしょうか？また、今後は企業などへの意見聴取など事業の本格化に向けた段階に進むように感じていますが、このような状況での住民投票の必要性や、今後も市民の意見を継続的に反映させる方法についてのお考えをお聞かせください。
回答	令和 5 年 7 月に策定した「福知山市新文化ホール基本計画」については、新文化ホールについて建設費や座席数、駐車場等、今後具体的に検討していく事項が、既に確定した事項かのような情報として錯そうしている状況が発生し、その中で、基本計画の見直しをするための住民投票条例の制定を求める署名活動が行われ、8,286 名の署名簿が選挙管理委員会に提出されました。また、市議会に対しては、市民との対話を継続しながら、現計画に沿って事業を進めることを求める請願が出される一方、現計画の見直しの賛否を問う住民投票を求める請願も提出されました。 こうした状況や様々な市民の声があることを踏まえ、基本構想に定めた理念は大切にしつつ、機能や規模、場所、スケジュール等について、新たな検討委員会を設置し、改めて市民の皆さんの意見等をお聴きしながら、再検討することを令和 6 年 3 月に発表させていただきました。 再検討発表後、全 5 回の市民説明会、無作為抽出の市民 3,000 名へのアンケ

	ート調査、全 3 回の市民懇談会等において市民の皆さんのお声をいただいております。それらのご意見については、再検討委員会において共有し、現在も再検討を進めていただいております。 今後も地域別市民説明会等で情報発信するとともにパブリック・コメント等において市民の皆さんよりご意見を伺いながら再検討を進めたいと考えております。 現時点では住民投票については必要ないと考えております。
--	--

質問⑤

質問	新文化ホールの整備に際して、指定用途型のふるさと納税で募集するのはいかがでしょうか。
回答	現在のふるさと納税の寄附金の使い道として「教育、スポーツ及び文化・芸術の振興に関する事業」があり、寄附者が選択することが可能です。今後さらに、企業版ふるさと納税も含めたふるさと納税制度による寄附金や、市民の皆さんのご協力で再建を果たした福知山城天守「瓦一枚運動」のような寄附金の獲得等も含めて検討していきたいと思っております。

質問⑥

質問	固定席で 800～1200 席の文化ホールを新設するくらいなら、綾部の中丹文化会館を使用してください。近隣に類似の施設があるのなら、わざわざ似たような施設を作るために高額な予算を使わないでください。 また、文化会館の建て替えを行うなら、近隣に存在しない 18 歳の子どもまで使用できるような室内遊技場を作ってください。「文化」とは「より豊かに生きるための知恵や技術」です。子どもが豊かに生きるためには情操教育が必要ですが、子どもの情操教育に繋がる遊び場が福知山には存在しません。 このような施設を先に作ってください。
回答	新文化ホール基本構想では、「人をつなぐ、活動をつなぐ、時をつなぐ～新たな福知山市の魅力を築く文化振興の拠点～」を基本理念とし、人と人をつなぎ、教育やまちづくり等、多様な分野をつなぎ、過去と現在・未来をつなぎ等、様々な「つなぎ」を生み出すことによって、お互いを刺激し、福知山市の新しい文化、ひいては福知山市の未来を創造する拠点となることを目指しています。 この基本理念に基づき、新文化ホールでは次世代を担う子どもたちだけではなく、文化活動をとoshた多世代交流の活性化に繋がる環境を整備したいと考えています。 また、基本計画に記載していましたキッズスペース等の具体的な諸室の配置や固定席・可動席などの機能等についても改めて見直し、再検討することとしております。

質問⑦

質問	3,000 名への市民アンケートにて、「新文化ホールの必要性」を問われていますが、「福知山市として必要な施設」ではなく「回答者個人として必要な施設」という意味での回答が見受けられます。費用を負担する子どもたちのことを考えたアンケート結果と言えるでしょうか。 また、市民懇談会の参加者でもなく、再検討委員会の委員でもない市民の意見については、再検討に向けて受け付けてもらう方法はあるのでしょうか。
回答	無作為抽出の市民 3,000 名へのアンケート調査では、「新文化ホールの整備は必要だと思いますか」という設問に対し、「必要」「機能や規模、場所、費用などの検討を行ったうえで判断する」「必要ない」の 3 択で選択いただいております、その理由等については回答いただいております。 市民懇談会だけではなく、令和 6 年 4 月に開催した市民説明会でのご意見や既述のアンケート等により市民の皆さんからいただいたご意見については、再検討委員会に共有し再検討を進めていただいております。今後も地域別市民説明会等で情報発信するとともにパブリック・コメント等において市民の皆さんよりご意見を伺いながら再検討を進めたいと考えております。 尚、財政面においては、施設規模に応じた全体事業費（建設費や維持管理費、大規模修繕に係る 60 年間の推計）を踏まえて、それらが市の財政状況に今後どのような影響を与えるかも含めて再検討を進めてまいります。